

ダッシュボードを活用したリアルタイム情報発信 ソリューションの概要

ソリューション概要



各ソリューションが取得したデータをデータ連携基盤を通じて、ダッシュボードで可視化。BIツールで各ソリューションが取得した情報を組み合わせ分析

- 津波監視カメラや河川氾濫予測システムのデータを連携基盤で収集
- 収集されたデータは、ユーザに合わせて、ダッシュボードやBIツール、また管理者向けサイトなどのサービスレイヤーで利用が可能
- 上記イラストは、取得した降水量データと駐車場満空検知システムの駐車状況を組み合わせ降雨状況による人流データとして出力

接続する通信技術

- なし

使用する機器情報

- データ連携基盤

コスト (税抜)

- 初期費用: 500万円
 - データ連携/システム設計
- 本事業ですでに構築されていたデータ連携基盤と新たに構築したソリューションの連携を行ったため、初期費用のみ (ランニングは別途支払い)

地域課題

- 地域課題の解消に向け設置されたソリューションの情報を発信し、市民などに届ける手段の欠如
- 人口減少により企業の採用者数が減少し、データ活用やデジタル技術を活かせる人材の育成に遅れ

解決の方向性

- データ連携基盤およびダッシュボードと各ソリューションを連携させ取得したデータを収集し、ダッシュボードにそれぞれの情報発信を行う環境を整備
- BIツール等可視化されたデータに触れることで、デジタルの活用に対する興味喚起、リテラシー向上を促進

地域課題解決の効果

- ダッシュボードアクセス数を3,000PV/年から50%増の4,500PV/年に拡大 (見込み)

導入体制等

体制 (代表機関は下線 / 今後の運用負担元は太字)

- 株式会社ハートネットワーク**: システム導入全体マネジメント、導入サポート
- 新居浜市: 地域交通課題の整理
- 株式会社インテック: データ連携基盤構築業務
- 新居浜市DX推進ラボ: デジタル人材の育成支援

実装にかかった期間

- 要件定義 (2ヵ月)、現地調査・設計 (1ヵ月)、ネットワーク設置 (1ヵ月)、システム開発 (2ヵ月)、テスト (1ヵ月) ⇒ 実質6ヵ月



「ダッシュボードを活用したリアルタイム情報発信」(株式会社ハートネットワーク)

リアルタイム情報可視化・配信ソリューション

詳細情報

導入対象

- 一般企業・公共施設向け

概要

- データ連携基盤と各ソリューションを連携させることにより、異なるシステムやアプリケーションの間でデータを統合、連携し効率的に管理、また活用することが可能。
- データソースを一元化することによりシームレスにデータのやり取りが可能。
- データ連携基盤のダッシュボード機能を活用し、広く市民向けの情報発信を行う。

特性・優位性

- ソリューション毎に収集されたデータはデータ連携基盤にて収集され、BIツールなどによるデータ活用が可能
- 異ソリューション間で取得したデータを組み合わせ表示、可視化することで地域課題の解決策の検討

機能

- 一定期間における定期的なデータ収集および蓄積
- BIツールによる多面的な情報分析
- ダッシュボードによるリアルタイムの情報発信

通信技術の採用理由

- データ連携基盤はデータを収集する側となるため、通信技術は不問

導入手続き

価格 (ご参考)

- 初期費用: 500万円～

サポート体制 (ご参考)

- カスタマー窓口の設置
- トラブル時のサポート

導入にかかる所要時間 (ご参考)

- 6ヵ月

団体情報

提供者名 (設立年)

- 株式会社ハートネットワーク (1988年)

住所

- 愛媛県新居浜市坂井町2-3-17 新居浜テレコムプラザ2F

代表者名

- 大橋 弘明

提供者URL

- <https://heartnetwork.jp/index.html#home>

本ソリューションに関する問い合わせ先

- 伊藤 直人 (n-ito@heartnetwork.jp)